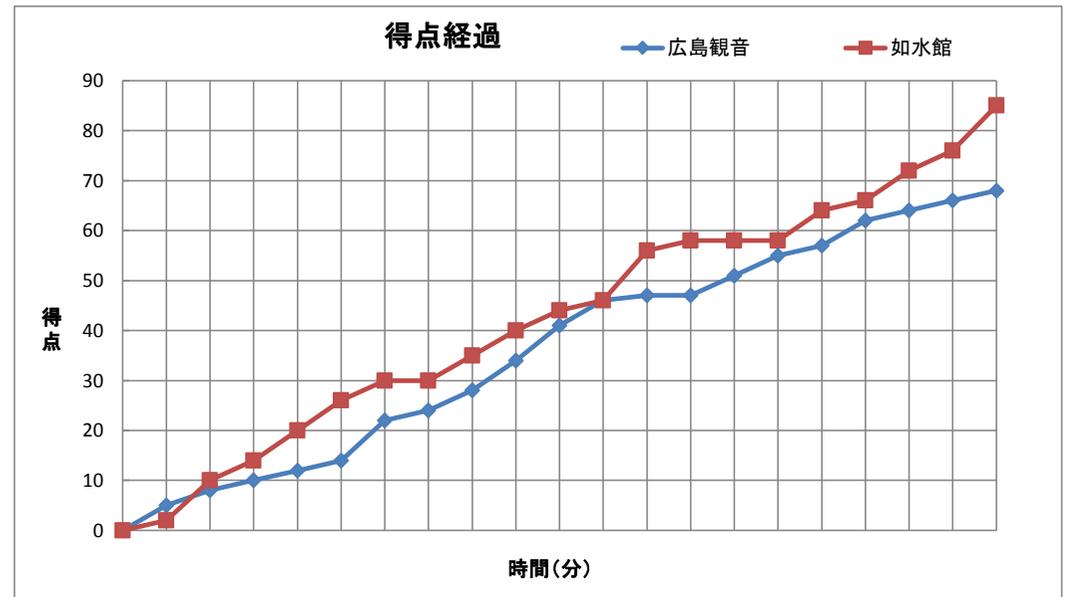




第75回広島県高等学校総合体育大会
バスケットボールの部

個人トータル表

男子		令和4年6月5日		11:00 開始													
3位決定戦		IHIアリーナ呉		0													
広島観音	68	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>27</td></tr> </table>	14	1st	26	27	2nd	18	14	3rd	14	13	4th	27	85	◎	如水館
14	1st	26															
27	2nd	18															
14	3rd	14															
13	4th	27															
(広島県)					(広島県)												
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	市山 圭人	12	2	3	0	3	* 4	岡田 了亮	19	5	2	0	2				
* 5	國原 勇太	16	2	4	2	3	* 5	太田 新	4	0	1	2	1				
* 6	西川 翔也	11	1	4	0	4	6	浜辺 颯也	-	-	-	-	-				
* 7	村田 亘羽	17	3	4	0	4	7	西原 拓海	-	-	-	-	-				
* 8	金本 昂大	10	1	3	1	2	8	岡田 一真	-	-	-	-	-				
9	齋藤 翼	0	0	0	0	1	9	藤井 遥駆	8	0	3	2	3				
10	藤崎 信	0	0	0	0	0	* 10	武井 申雄	26	1	10	3	3				
11	本多 祥大	-	-	-	-	-	11	藤原 礼央	-	-	-	-	-				
12	木村 翔太朗	0	0	0	0	0	12	山本 蒼太	-	-	-	-	-				
13	百目 匠	-	-	-	-	-	13	杠 修羽	-	-	-	-	-				
14	岸 幸希	-	-	-	-	-	* 14	清水 真生	17	0	5	7	4				
15	丸山 翔立	2	0	1	0	0	15	船津 竜之介	-	-	-	-	-				
16	阿部 悠志	-	-	-	-	-	16	佐藤 優成	-	-	-	-	-				
17	酒井 一圭	-	-	-	-	-	17	光井 凌哉	0	0	0	0	0				
18	森下 晴基	-	-	-	-	-	* 18	室田 秀仁	11	1	4	0	1				
コーチ	山本 風太					0	コーチ	秦野 誠次					0				
Aコーチ	高橋 眞紀						Aコーチ	年藤 健史									
合計		68	9	19	3	17	合計		85	6	21	14	13				
主審: 山住泰光																	
副審: 小林弘典																	
副審: 中原迅																	



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	8:29	18:19	25:03	34:36	38:57	:	:	:	:
TeamB	16:23	:	29:34	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕 スタートは広島観音#4, 5, 6, 7, 8, 如水館は#4, 5, 10, 14, 18。
 第1Q 両チームともディフェンスはマンツーマンでスタート。観音は#5のドライブからの#7の3P, #4のドライブなどで得点。対する如水館はディフェンスからターンオーバーを誘い、#5の速攻などで得点する。如水館はディフェンスをオールコートの2-2-1からのハーフの2-1-2のゾーンディフェンスにシフトすると、徐々にペースを掴み、リードを広げ、14-26で第1Q終了。
 第2Q 観音はディフェンスをハーフコートの1-1-3ゾーンにシフト。如水館のオフェンスのリズムを狂わせることに成功し、#4, #5の3Pなどで点差を詰める。しかし、観音は要所でのミスが響き、逆転には至らない。41-44と観音が3点差まで点差を詰めて前半終了。
 第3Q 観音は#8の3P, #7のバスケットカウントで得点。一気に逆転するも、対する如水館はディフェンスをハーフの2-3ゾーンにシフトし、プレッシャーを強め、#4の2本の3Pなどで再びリードを広げる。観音はタイムアウトをとり、ディフェンスをマンツーマンにシフトして追い上げにかかる。最大11点まで開いたビハインドを3点差まで戻し、55-58と如水館リードで第3Q終了。
 第4Q 如水館は#14のドライブで得点。オールコートのマンツーマンにシフトしてプレッシャーを強め、ペースを掴む。観音は#7の3Pや速攻などで対抗するが、如水館は#14のインサイドでのプレイを中心に徐々にリードを広げていく。観音はディフェンスのプレッシャーを強めて逆転を狙うも、結局68-85で如水館が勝利し、第3位を獲得した。
 両チームとも、二週間後に地元広島で開催される中国高校選手権での活躍を期待したい。

戦評: 市田雅明

記録: